

あげる。

引用文献

野村周平,1993. 福岡県の水生甲虫に関する資料. 新筑紫の昆虫, (2): 5-21.
 松井英司,1992. 天草諸島の水生甲虫目録. 熊本昆虫同好会報, 38(1): 1-20.
 岩崎郁雄・木野田毅,1995. 宮崎東諸県広域圏における水生昆虫類の新知見(半翅目・甲虫目), pp. 101-111. 宮崎東諸県の生物.
 林 成多・初宿成彦,2003. 大阪市立自然史博物館所蔵のゲンゴロウ類標本: 特に希少種および絶滅危惧種について. 大阪市立自然史博物館研究報告, (57): 11-20.
 森 正人・北山 昭,1993. 図説日本のゲンゴロウ. 217 pp., 文一総合出版, 東京.
 森本静子,2010. 大阪府南部のゲンゴロウ類調査. 兵庫陸水学会, 61/62: 107-111.

(森 正人 561-0883 豊中市岡町南 1-1-10 環境科学大阪株式会社)

【短報】四国・愛媛県におけるツブスジドロムシの採集記録

ツブスジドロムシ *Paramacronychus granulatus* Nomura は日本固有種で, 本種のみでツブスジドロムシ属 *Paramacronychus* を形成する特異な種である. 主に河川原流域の細流中に生息し, 東北地方から山陰地方にかけての本州から分布記録がある (Satô, 1993; 林・門脇, 2007).

本種の四国における分布は一般的な図鑑類では示されていないが (上野ほか, 1985; 佐藤・吉富, 2005), 故・佐藤正孝博士は博士学位論文 (Satô, 1993) において, 「2exs., Ryû-no-iwaya Cave, Tokushima Pref., 2. XII. 1971, M. Yoshida」の採集記録を示しており, これが実質的に四国からの初記録になると考えられる. そしてこれ以降, 四国での採集例は見当たらない.

筆者は近年, 愛媛県から四国2例目となる本種を採集しているので, ここに報告する.

26 exs., 愛媛県四国中央市金砂町小川山久保ヶ市 (吉野川水系), 24. XI. 2008, 筆者採集・保管 (図1).

採集したのは吉野川水系銅山川支流中の川に流れ込むスギ植林内



図1. 愛媛県産ツブスジドロムシ.



図2. 生息環境.

の細流である (図2). 全体的に水量は少なく, 瀬になっている部分の水深は1~2 cm程度ときわめて浅かった. 採集は目の細かいタモ網を用いて行い, 本種は主に瀬の部分に引っかかっている落ち葉下から得られた. 同所的にアカモンミゾドロムシ *Ordobrevia maculata* とマルヒメツヤドロムシ *Zaitzeviaria ovata* も採集され, 生息環境は本州で一般的に知られているものと大差ないと考えられる. 今後, 四国の他の地域からの発見が期待される.

末筆ながら, 本稿をまとめるにあたり種々ご教示いただいた, 吉富博之博士 (愛媛大学) にこの場を借りてお礼申し上げる.

引用文献

林 成多・門脇久志, 2007. 鳥取県大山山麓の河川に生息する水生甲虫類. ホシザキグリーン財団研究報告, (10): 149-168.
 Satô, M., 1993. A revisional study on the superfamily Dryopoidea (Coleoptera) of Japan. 239pp. PhD Thesis, Kyoto University, Kyoto.
 佐藤正孝・吉富博之, 2005. コウチュウ目 (鞘翅目) Coleoptera. 川合禎次・谷田一三 (編), 日本産水生昆虫・科・属・種への検索, pp. 591-658. 東海大学出版会, 東京.
 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝編, 1985. 原色日本甲虫図鑑 (II). 526pp. 保育社, 大阪.

(中島 淳 福岡県保健環境研究所)

【短報】愛媛県におけるミユキシジミガムシの初記録

ミユキシジミガムシ *Laccobius (Laccobius) inopinus* Gentili, 1980 (図1) は, ガムシ科シジミガムシ属に属する水生甲虫で主に止水域に生息する (上手, 2007). 本種は環境省版第4次レッドリストにおいて準絶滅危惧 (NT) に選定されており (環境省自然環境局野生生物課, 2012), 四国からは高知県, 徳島県で生息が確認されている (松井,